

三菱ワイヤー放電加工機セミナー NA コース参加報告

三重大学 工学部工学研究科 技術部 実験実習工場・支援グループ

○鈴木義和、中川浩希

suzumori@mach.mie-u.ac.jp

1. はじめに

昨年度、ワイヤー放電加工機の予算化が決まり導入され、今年 5 月 25 日から 5 月 27 日の 3 日間に業者が開催するセミナーが開催され、技術部より 2 名が参加したので以下の報告をする。

2. 参加目的

ワイヤー放電加工機の機能、操作性を十分に理解し迅速かつ的確な操作を行い、依頼業務に対し速やかな対応を行うため。

3. 研修内容

研修期間：平成 23 年 5 月 25 日(水)～5 月 27 日(金)の 3 日間

研修場所：三菱電機株式会社 名古屋製鉄所 FA コミュニケーションセンター

内 容：5 月 25 日 ワイヤー放電加工機の基礎 基本操作実習(1st加工)
5 月 26 日 基本操作復讐 加工条件の設定方法 NC プログラム テーパ加工
5 月 27 日 セカンドカット 保守・点検 質疑応答

4. おわりに

以前より前放電加工機は故障が多く、新規ワイヤー放電機を要望していた。それが昨年度予算化され、前放電加工機と同じメーカーである三菱電機株式会社製『ワイヤー放電加工機 NA1200』を導入する事となった。それにより、三菱電機が開催するセミナーを受講する経緯となった。

セミナーでは、ワイヤー放電加工機の基礎知識を中心に 3 日間学び、午後からは基礎操作の実技を行った。材料の特性や形状によってその加工に適した加工条件を選択や NC プログラム生成、保守・点検の知識を十分に学ぶ事ができた。また、前放電加工機に無かった“セカンドカット”を行う事で今まで以上の精度を出す事は勿論、面荒さも格段と良くなり、今後に作業に期待ができると実感した。

今後これらセミナーで学んだ事を活かして依頼業務に専念し、今で以上の活躍が出来るように努めたい。